

別紙（第 8 号様式「 7 経過と内容」）

事業名	nico 川名
団体名	nico 川名
1. 事業目的	
ここ数年で児童数が増えている新林小学校では学童保育が定員超過で低学年でも入所できないことから、新林小学区である藤沢市川名を中心に子どもたちと子育て世代のおとなが遊び・学べる居場所をつくる	
2. 事業概要	
長期休みや給食がない平日を中心に子どもたちが安心・安全に遊び・学べる居場所を地域につくる。 また子育て世代のおとなをサポートしていく。そして、地域のなかに根付く居場所としていく。	
3. 成果目標	
居場所の利用者数、毎回 20 人を目標としてすすめていく。また、ボランティアスタッフも 10 人に増やし実施時間を長くすることが目標。 子どもたち同士、そして地域のおとなと顔見知りを増やすことで地域の安全につなげていきたい。また、未就学児とその保護者が参加しやすい午前の開催や中学生以上が参加しやすい夕方の開催もしていくことで多くの世代の参加を目指したい。	
4. 成果目標に対する結果	
本事業と放課後の居場所を合わせた 1 回あたりの平均利用人数は 14 名、のべ 413 名が利用した。 うち、未就学児およびその保護者の利用は、1 回あたり平均それぞれ 2 名、中学生は夏休みに 1 度だけ 1 名利用があった。 ボランティアスタッフは、地域の方 2 名、大学生 3 名が定期的に参加をしている。 そして、工作や学習といった得意を活かし、子どもたちとの交流を深めている。 子どもたちは自分たちで自然と異学年との関わりを円滑にすすめられるような言動がみられている。居場所以外でもお互いにあいさつをすることもあり、地域の安全にも繋がっている。	

5. 実施した事業の内容・時期	
年 月	実施内容
2025 年 8 月	<u>○夏休みの居場所</u> 場所：川名通り町市民の家 日時：8 月 6、20、27 日（水）11:00～16:30 参加人数：55 名 内容：子ども達が自由に入出りできる居場所を開所。 参加費は無料。おとなが 2 人以上で見守る。ランチタイムを設けてお弁当を持参したら食べることができるようにした。 おやつに、塩おむすびを無料で提供。 子どもたち、保護者からも好評だった。 <u>○長期休みの宿題支援</u> 長期休みならではの宿題を支援することで保護者の負担を減らし、子どもたちにも楽しく取り組める場を提供する。「ポスター描き・自由画」と「工作 DAY」を実施。 『ポスター描き・自由画』 場所：川名通り町市民の家 日時：<u>高学年の部 8 月 23 日（土）</u> 午前部 10:00～12:00 午後部 13:00～15:00 <u>低学年の部 8 月 24 日（日）</u> 10:00～12:00 内容：絵画の先生をお招きして、子どもたちの「これを描きたい！」という気持ちに寄り添い、宿題のテーマに沿ったポスターの完成を目指した。 参加人数：高学年の部 6 名 低学年の部 9 名



低学年の部に参加した児童が、「MOA美術館児童作品展」に応募し、入選した。

○工作 DAY

場所：川名通り町市民の家

日時：8月23日（土） 10:00～12:00

参加人数：0名

内容：木材や折り紙、ビーズなどを用意して自由に工作ができるイベントの実施。宿題にある貯金箱の作り方の本も用意をして実施。

用意をしたが、申込みがなく実施に至らなかったため、11月の「おやここうさくワークショップ」を実施した。

2025年9月

○給食のない平日の居場所

場所：川名通り町市民の家

日時：9月1日(月) 2日(火) 11:00～16:30

参加人数：30名

内容：子ども達が自由に入出りできる居場所を開所。参加費は無料。おとなが2人以上で見守る。ランチタイムを設けてお弁当を持参したら食べることができるようにする。

おやつに、塩おむすびを無料で提供。

2025年11月	<u>○おやここうさくワークショップ</u> 内容：クリスマスシーズンに向けてのスノードーム作りやビーズアクセサリーを親子で制作。 場所：川名通り町市民の家 日時：11月30日（日） 10:00~12:00 参加人数：18名
2025年12月	<u>○給食のない平日の居場所（冬休み）</u> 場所：川名通り町市民の家 日時：12月23日(火) 24日（水） 11:00~16:30 参加人数：30名 内容：子ども達が自由に出入りできる居場所を開所。参加費は無料。おとなが2人以上で見守る。ランチタイムを設けてお弁当を持参したら食べることができるようにする。 おやつに、塩おむすびを無料で提供。
2026年1月	<u>○書初めワークショップ</u> 内容：長期休みならではの宿題を支援することで保護者の負担を減らし、子どもたちにも楽しく取り組める場を提供する。「書初め」を実施。 場所：川名通り町市民の家 日時：1月5日(月) 10:00~12:00

参加人数：9名



○給食のない平日の居場所（冬休み）

場所：川名通り町市民の家

日時：1月7日(水) 11:00～16:30

参加人数：16名

内容：子ども達が自由に出入りできる居場所を開所。参加費は無料。おとなが2人以上で見守る。ランチタイムを設けてお弁当を持参したら食べることができるようにする。

おやつに、塩おむすびを無料で提供。

2026年2月

○託児付きワークショップ ペップトーク！～コミュニケーションでごきげんな親子に～

内容：やる気を引き出す言葉掛け（ペップトーク）を学ぶことで、親子関係をより良好にし、家庭内で安心して過ごせる関係づくりにつなげることを目的として実施。

未就学児は託児スタッフを配置、小学生は別室に遊べるスペースを用意することで、保護者がワークショップに集中することができた。

場所：場所：川名通り町市民の家

日時：2月23日（月・祝） 13:45～15:45

参加人数：14名



2026年3月

○給食のない平日の居場所（臨時休校日、春休み）

場所：川名通り町市民の家

日時：3月18日(水) 19日(木) 23日(月・祝) 11:00
～16:30

参加人数：計35名

	内容：子ども達が自由に入出りできる居場所を開所。参加費は無料。おとなが2人以上で見守る。ランチタイムを設けてお弁当を持参したら食べることができるようにする。 おやつに、塩おむすびを無料で提供。 ※3月19日は小学校の卒業式のため、在校生は臨時休校だった。そのため、卒業生のきょうだいを対象に9:00～11:00は居場所の早期開放を行った。 <u>Onicoでおしゃべり～新学期いろいろ編～</u> 内容：新年度が始まる前の不安や悩みを気軽に話することができるイベント。 場所：川名通り町市民の家 日時：3月22日（日） 参加人数：9名
6. 事業を実施して見えてきた課題	
・無償でのボランティアスタッフの確保が難しく、有償ボランティアにした場合の資金確保の基盤が必要。 [対応策] 8.「3年後に叶えたいミライ」の「資金、人材の確保について」に記載。 ・有料開催イベントへの参加者が少ない。 「子どもの居場所」というイメージが定着した結果、保護者や家族での参加が見込めなかった。 [対応策] 今後は、検討中の保護者向けの「おしゃべり会」の回数を重ねることで、地域住民のニーズの聞き取りを行い、事業を企画・実施する。	

7. 事業に対する自己評価・感想

活動開始から 1 年が経過し、多くの方々に本活動を認知していただけたと感じています。

また、地域が抱える課題についても理解を深めていただく機会となり、私たちの活動を応援してくださる方が以前より増えました。

その結果、地域住民の方々によるボランティア参加に加え、藤沢市共創推進課よりご紹介いただいたインターンの大学生にもボランティアとしてご協力いただきました。

さらに、保護者の皆さまからの寄付や、自治会による「子育て支援団体助成制度」の立ち上げなど、地域全体で子どもたちの居場所づくりを支えていただける環境が広がりました。

活動を通じて、地域の理解と協力の輪が着実に広がっていることを実感しています。

8. 3 年後に叶えたいミライ（ビジョン・取り組み・成果目標）

[ビジョン]

地域の子どもたちが安心して集い、自由に過ごせる「みんなの居場所」として、地域にしっかり根差した活動へと成長させていきたいと考えています。

[成果目標]

3 年後には、定期的に 20 名以上の子どもたちが安心して集える居場所として定着させる。また、地域ボランティアや学生支援者 10 名程度が継続的に関わる体制づくりを目指します。

[今後の取り組み]

<2026 年度>

①放課後の居場所事業：週 1 回の定期開催の維持 利用者平均 15 名

低学年の児童対象の居場所を隔週で開催 利用者平均 10 名

②長期休み、給食のない日の放課後の居場所事業：年間15回開催　利用者平均20名

③宿題サポート事業：夏休みの絵画・ポスター、書き初め　参加者10名
学習支援　月1～2回開催　居場所利用児童8名

④自主イベント：親子向けイベント年2回開催、地域イベントへ年2回参加
地域住民や保護者との「おしゃべり会」：月1回開催　利用者平均5名

その他、保護者からいただいた「入学式・卒業式・懇談会の日の開催をお願いしたい」という意見を踏まえ、対象家庭のきょうだい限定の早期開放を実施する。

（希望者には昼食を用意し、保護者の式典当日の負担軽減）

<2027年度>

①放課後の居場所事業：週1回の定期開催の維持　利用者平均20名
低学年の児童対象の居場所を隔週で開催　利用者平均10名

②長期休み、給食のない日の放課後の居場所事業：年間15回開催　利用者平均30名

③入学式・卒業式・懇談会等の早期開放事業：年3回実施　利用平均5名

④宿題サポート事業：夏休みの絵画・ポスター、書き初め　参加者15名
学習支援：週1回開催　居場所利用児童10名

④自主イベント：親子向けイベント年2回開催、地域イベント年4回参加
地域住民や保護者との「おしゃべり会」：月2回開催　利用者平均5名

[資金、人材の確保について]

① 資金

- ・ 寄付金サイトの運用や地域イベントに参加し、活動資金や人件費の確保を行う。
- ・ 地域自治会において、2025 年 12 月に「子育て支援団体補助制度」が設立されました。

活動の認知向上および資金確保のため、自治会主催イベントへの出店機会をご提供いただくなど、継続的な活動を地域全体で応援していただいています。

② 人材

- ・ 運営スタッフが、nico 川名を立ち上げるきっかけとなった、「ふじさわ子どもの居場所スタートアップサポート講座」の受講生が参加するオープンチャットにボランティア募集の声かけを継続的に行っています。
- ・ 居場所を無料開放している理由を明記したチラシを地域や保護者に配布することで、無償ボランティアスタッフの確保を図っていきます。
- ・ 少額ではありますが、ボランティアスタッフに対し謝礼金を支給することは、経済的支援に加え、社会参加への動機づけや自己有用感の向上を促し、社会復帰を支援する一助になるものと考えています。

[今後の展望]

子どもたちの遊びや交流の場としてだけでなく、地域住民がつながり、子育てや暮らしの悩みや不安を気軽に共有できる場としても役割を広げていきたいです。また、地域住民や学生ボランティア、行政、学校との連携をより深め、地域全体で子どもたちを見守り育てる仕組みづくりにつなげていきたいと考えています。

さらに、継続的な運営体制を整え、誰もが無理なく関わることのできる活動として定着させることで、子どもたちが成長しても「ここが自分の居場所だった」と思い出せるような、あたたかな地域の拠点を目指してまいります。

ミライカナエル活動サポート事業 収支決算書

(収入の部)

費 目	予算額(a)	決算額(b)	比較(b-a)	摘要
ミライカナエル活動サポート事業 補助金・負担金(千円未満切捨て)	50,000	50,000		
宿題支援等イベント参加費	25,000	15,600	-9,400	夏休み宿題サポート 4000円 親子こうさくWS 4500円 書初めWS 3000円 ベップトークWS 4000円 新学期交流会 100円
団体拠出金	3,000	1,397	-1,603	
合計	¥78,000	¥66,997	¥-11,003	

(支出の部)

補助金 充当先	費 目	予算額(a)	決算額(b)	比較(b-a)	摘要
○	使用料	29,750	17,580	-12,170	市民の家使用料 (ホール390円×22回8580円 和室200円×45回9000円)
○	保険料	14,000	7,280	-6,720	イベント保険 1回560円×13回 (連日開催の場合は、 1回分として計算される)
○	印刷製本費	6,250	7,665	1,415	団体概要チラシ 800部 1925円 書き初めWS 150部 1845円 ベップトーク 200部 1875円 新年度交流会 120部 2020円
○	消耗品費	15,000	28,472	13,472	プリンターインク 13280円 文具 2220円 遊び道具 6205円 食材 2004円 事務用品 1333円 備品印刷代 3100円 その他備品 330円
	謝金	5,000	6,000	1,000	
	業務委託費	8,000	0	-8,000	HP等作成委託
	合計	¥78,000	¥66,997	¥-11,003	

※ 収入の部、支出の部の合計が一致するように作成してください。